

(様式第4号)

B E M S 概 要 書

※補助対象BEMSとして、複数のBEMSの登録を希望する場合は、BEMSごとに作成すること。

1. システム概要

BEMS提供事業者の名称	株式会社OGCTS			
BEMSの名称	もっとsave			
想定対象施設	業種	工場、事務所ビル、商業施設、病院、学校等	延床面積	2,000～10,000平米
	契約電力	低圧、高圧、特別高圧	計測点数	数十点～数百点
URL(※)	http://www.mottsave.jp/			

※当該BEMSに関する情報をウェブサイトに掲載している場合に記入

2. システムの特徴 ※200字以内(厳守)でシステムの特徴を端的に説明すること。

「もっとsave」とは、大阪ガスグループの簡易BEMSです。お客様のエネルギー(ガス、電気、水道)の使用(量)状況をまとめて見える化して確認でき、さらに設備の省エネ制御を行うこともできるため、総合的な省エネルギー対策に最適なクラウド型システムです。

3. システムを構成する主要な機器・設備(標準構成)

No.	機能	名称	メーカー	型番	参考価格(円)
1	主装置(親機)	ゲートサーバー	エニワイヤ	AG478-AP3	¥300,000
2	計測器(子機)	単回路 電力ターミナル	エニワイヤ	A423SW-J1PW1	¥60,000
3	計測器(子機)	電力量計7回路 3相3線	エニワイヤ	A40SW-J7PW1-1	¥200,000
4	計測器(子機)	電力量計7回路 単相3線	エニワイヤ	A40SW-J7PW1-2	¥200,000
5	パルス計測器	最大4回路計測用	エニワイヤ	A42SW-J4PL1	¥49,000
6	計測器(子機)	アナログ入力ターミナル4回路	エニワイヤ	A42SW-J4A1	¥100,000
7	計測器(子機)	温湿度計	エニワイヤ	A453SW-J1RT-WH	¥40,000
8	計測器(子機)	CO2センサー	エニワイヤ	A453SW-J1C-WH	¥100,000

4. システムの機能(実装機能について「該当」欄に○を記入)

区分	項番	項目	機能	該当	補足事項	
○	1	電力	電力消費量	事業所全体の電力消費量を計測できること。	○	
○	2		電力消費量	主たる電力負荷設備の電力消費量を計測できること。	○	
	3		発電量・売電量	太陽光発電、燃料電池等の発電設備を有する場合、機器ごとの発電量及び売電量を計測できること。(他社の発電設備である場合等、計測できない場合を除く)	○	
	4		蓄電量・放電量	蓄電設備を有する場合、蓄電量及び放電量を計測できること。(非常用等、計測する必要性がない場合を除く)	○	
○	5		計測間隔	事業所全体の30分以内の積算電力消費量を計測できること。	○	
○	6		見える化	事業所全体の30分以内の積算電力消費量を表示できること。	○	
	7	電力以外(ガス、重油等)	エネルギー消費量	事業所全体のエネルギー(電力除く)消費量を計測できること。	○	
	8		エネルギー消費量	主たるエネルギー(電力除く)負荷設備のエネルギー(電力除く)消費量を計測できること。	○	
	9		見える化	事業所全体の積算エネルギー(電力除く)消費量を表示できること。	○	
	10	全体	見える化	事業所全体のエネルギー(電力含む)消費量を原油換算値(kl)で表示できること。	○	
	11	ローカル制御(※)		省エネやピーク対策のために、各機器を自動制御できること。	○	
	12	接続機器の制御	遠隔制御(※)	地域電力のひっ迫時等に、事業所から離れた場所から制御できること。(機器直接制御でもデマンド目標値変更による間接制御でも可)	○	
	13	発電、蓄電設備(※)		発電、蓄電設備を有する場合、事業所及び事業所から離れた場所から稼働状態を変更できること。	-	
○	14	デマンド警報		事業所全体の30分積算電力量の目標値の設定ができ、設定された目標値を超える蓋然性が高い場合には、メール等で警報を発することができること。	○	
	15	デマンドの管理	デマンドピークの制御(※)	上記の場合に、電力消費量を自動制御できること。	○	
	16		デマンドレスポンス	補助対象BEMS提供事業者が電力会社等から要請を受けた場合、自社のセンターシステムと連携して事業所から離れた場所からも電力使用量を抑制できること。	○	

(注) ・「区分」欄の○印は必須であり、その他は任意である。
・「項目」欄の※印のあるものは、制御履歴を保存できるようにすること。